



3月、対馬市立豆酩中学校は、79年の歴史に幕を閉じます。昭和22年に豆酩中学校が誕生し、現在まで、約2,800人が巣立った学び舎。地域とともに歩んだ学校の歴史と、最後の生徒となった5人が語る学校への思いを振り返ります。

ありがとう 豆酩中学校

昭和22年 4月 学制改革により下県郡豆酩村立豆酩中学校となり、小学校に併設し発足
旧陸軍兵舎2棟を改造し、第1・第2校舎として使用
(在籍生徒数1年41人、2年49人、3年13人)

30年 10月 豆酩626番地(現豆酩小敷地)に新校舎移転完了

31年 4月 豆酩村立豆酩中学校として独立

町村合併により巖原町立豆酩中学校に校名変更

32年 4月 浅藻中学校閉校となり、豆酩中学校へ統合

38年 3月 校歌制定 披露式挙行

43年 1月 給食室を増設し、完全給食開始

平成元年 4月 屋内運動場落成記念豆酩地区大綱引き大会

9年 3月 新校旗完成

9年 4月 新校舎へ移転 落成式

15年 9月 第1回幼小中合同運動会

16年 3月 対馬市発足に伴い、対馬市立豆酩中学校に校名変更

令和3年 11月 防波堤アート制作(ふるさと学習)

6年 4月 対馬市市制施行20周年記念式典「感謝状」表彰

8年 3月 閉校

海を望む高台に立つ校舎

昭和22年に誕生した豆酸中学校最初の校舎は、旧陸軍の兵舎を改造したものでした。昭和30年に現在の豆酸小学校の場所に移転し、3代目となる現在の校舎は、平成9年に造られたものです。瓦屋根の美しい校舎からは、キラキラと光る海が見え、海を見ながら授業ができる3階の音楽室や被服室は、生徒たちに人気の場所でした。



3代目の現校舎

国体のレガシーを受け継いで

豆酸中学校の運動会では、10年ほど前から長崎県出身のアーティスト九州男さんの「maestro」にのせてダンスを披露してきました。先輩から後輩に代々引き継がれていき、豆酸中学校の伝統となったこのダンスは、2014年に長崎県で開催された、第69回国民体育大会の開会式で当時の高校生が踊ったダンスがルーツとなっています。先輩たちの思いだけでなく、長崎で行われた2度目の国体のレガシー（遺産）も受け継ぎ踊ってきました。



旧校舎で集合写真



毎年運動会を盛り上げてきたダンス

豆酸の子どもたちとの思い出

昭和55年から、家庭科の教師として豆酸中に赴任した吉田千鶴代さんは、生徒たちに背中を押され、自身の夢をかなえた豆酸中での日々を、今も大切にされています。



よしだ ちづよ 吉田 千鶴代さん
よしだ すなお 吉田 順さん

「1年生の担任になった時、クラス活動の時間に、短歌や俳句を教え始めました。自然豊かな豆酸でのびのびと育った子どもたちからは、素晴らしい作品が次々と生まれ、新聞の投稿でいくつも入選するほどになりました。」

そんな生徒たちの姿にも刺激を受け、子どもの頃からの夢だった国語の先生への道を目指した吉田さんは、見事免許を取得します。昭和58年から

は国語の教師として、短歌や俳句を取り入れた授業を行ってきました。

「旧校舎の前には海が広がっていて、月に1度は外に出て海岸で国語の授業をすることもありました。豆酸中は、私にとって人生の転機になった場所です。」



吉田さんが自費出版した生徒たちの作品集

剣道で地域を盛り上げ

千鶴代さんとともに、豆酸に小学校教師として赴任した夫の順さんは、昭和55年6月に豆酸少年剣道クラブを立ち上げ、翌年には千鶴代さんが顧問となって中学剣道部が創部し、順さんが指導にあたりました。発足当初は試合に負け

てばかりでしたが、熱心な指導と地域を挙げての応援を受け、2年ほどで対馬一の実力をつけ、東京など島外の遠征で活躍するようになりました。

「剣道を通じて、子どもたちの仲が深まり、遅くなっていく姿が今でも忘れられない」と順さんは振り返ります。



瞬く間に実力をつけた子どもたち

豆酸中最後の中学生となった5人に、
これまでの思い出や
学校の好きな場所などについて
話してもらいました。

たくさんの思い出を ありがとうございます!



ながお ひびき
永尾 響生さん
(2年)

新しい仲間との出会いにワクワク

来年度から通う久田中学校との交流が思い出に残っています。豆酸中と違い、大人数での授業やグループで意見を出し合って答えを出す授業はすごく新鮮で、4月からがとても楽しみになりました。交流では、豆酸に古くから伝わる赤米についてプレゼンする機会もあり、小学校の時から関わっている赤米について久田中の人たちに知ってもらえて嬉しかったし、赤米に関わることができた小中学校時代を過ごすことができたことに誇りを感じました。

部活の時間が大好きです

豆酸中バスケ部の部員は3人しかいないけど、大好きな時間です。練習の中で、新しい技術を学ぶことができたし、豆酸中を卒業した高校生が遊びにきてくれて、色々と教えてくれるのがとても楽しかったです。



仲間との修学旅行

5で行った修学旅行が1番の思い出です。福岡でミュージカルを観たり、遊園地に行きました。遊園地は家族旅行でも行ったことがありますが、雰囲気も楽しさも違いました。さらに、少人数ということもあり、移動は電車や路線バスを使って行ったので、自分たちが時間を考えることができた反面、通勤ラッシュに巻き込まれるなど、他の中学校では体験することができない体験ができたことが、心に残っています。



自分に合わせた学びをくれた教室

普段は、他の仲間と同じ教室で学んでいますが、理解しにくい内容がある時は2組教室（特別支援学級）へ行き学んでいます。自分の学びに合わせて、先生たちが教えてくれるので、きちんと理解することができ、学校生活を送る上で、とても大切に大好きな場所です。



たけおか がくと
竹岡 岳人さん
(2年)





くりはら せいか
栗原 星花さん
(3年)

お世話になった先輩に感謝をこめて

1年生の時にいった、3年生を送る会が一番思い出に残っています。中学校に入って、いろいろなことを教え、支えてくれた3年生に楽しんでもらおうと、サプライズで色々なことを準備しました。本番で、3年生に喜んでもらったのはもちろんですが、準備する時がとても楽しく、今でも心に残っています。



音楽室からの景色に寂しさをおせて

音楽室から見える海がとても綺麗です。閉校するとその景色を見る人がなくなってしまうんだと、とても寂しい気持ちになります。昨年、対馬で開催された国民文化祭の短歌の祭典に、そんな気持ちを短歌にして発表し皆さんに観てもらえてとても嬉しかったです。

風孕み心晴れ晴れ 音楽室の窓一面の宝石の海



さいき たける
佐伯 岳瑠さん
(2年)

修学旅行でプロ野球選手に遭遇

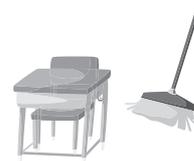
修学旅行で行ったみずほPayPayドームで、プロ野球選手とすれ違いました。テレビで見るより大きくて、びっくりしたことが思い出に残っています。普段見ることのない場所にもいくことができ、すごく楽しかったです。ただ、高所恐怖症なので、みんなで行った福岡タワーは怖かったし、遊園地でみんなで乗った絶叫マシンは記憶に残っていません。



かつい ふく
勝井 福さん
(2年)

掃除の時間に見る海が最高！

3階の音楽室から見える海が大好きです。音楽の時間に見るのもいいのですが、掃除の時にキラキラと光る海がふと目に入ると、つつい手を止めて、窓の外を見入ってしまいます。



最後の運動会

豆酸中最後の運動会が一番思い出に残っています。これまで先輩方が踊ってきたダンス「maestro」に加え、自分たちで考えるパートを作って踊りました。日程も9月から5月になり、時間も少ない中、練習どおり踊れるかとても緊張したけれど、みんなの気持ちを一つにして踊ることができ、保護者や地域の人たちなど観ている人たちに思いが伝わったと思います。豆酸中の生活は2年という短いものですが、私の人生にとって、とても大切な2年だったと思っています。

海を見るなら被服室がおすすめ！

海を見るなら、音楽室よりも、おなじ3階の被服室の方がおすすめです！音楽室よりも広く、開放感があつて、いろんなところから海がみえます。

